

野田九条通信

2016年3月123号
野田・九条の会 事務局
☎04-7122-0502



野田 九条の会

検索

周囲の人へも訴えよう!

後どうなるか定かではない。世論の動向を探るものかもしれない。常套手段の争点ばかりをやるか、非常事態条項を出してくる可能性もある。

2月19日には野党5党で「戦争法」廃止法案が共同提出され野党共闘の期待も高ま

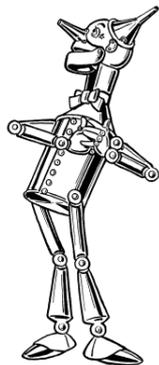
最近の高い内閣支持率（調査人数が少なすぎる）に慢心し一気に本丸を攻めるといふことか。党内には慎重論も根強いので今後どうなるか定かではない。世論の動向を探るものかもしれない。常套手段の争点ばかりをやるか、非常事態条項を出してくる可能性もある。

9条改憲阻止



安倍首相は2月4日、夏の参院選で改憲を争点に掲げ戦力不保持を定めた9条2項を改定する必要性に言及した。自衛隊をやめて国防軍にしようという考えだ。

夏の参院選では9条改憲を許さないという決意を国民が示すことが重要だ。諦めや無関心は政権の暴走を許すだけだ。周囲への訴えを強めましょう!



Illustrated by W. W. Denslow

① 今月の予定	
3月3日(木) 10:00~11:30	2000万人署名行動 川間住宅地戸別訪問 川間駅南口集合 野田九条の会
3月6日(日) 13:30~16:30	DVD上映とディスカッション 「戦争とプロパガンダ~アメリカの映像戦略~」 南部梅郷公民館 南地域九条の会
3月9日(水) 17:30~18:30	9の日行動 安保法反対アピール・駅頭署名活動 川間、七光台、清水公園 野田九条の会 愛宕、梅郷各駅に集合
3月12日(土) 13:30~17:00	野田・九条の会 定例会 学習「緊急事態条項と九条第2項」 中央公民館講座室
3月19日(土) 13:30~	戦争法を廃止・安倍政権の暴走を許さない 3・19総がかり日比谷大集会 日比谷野外音楽堂で集会、その後デモ
3月25日(金) 13:30~16:00	DVD上映とディスカッション 「あしたが見えない~深刻化する“若年女性”の貧困~」他 中央公民館講座室 子どもの未来を語る会
3月26日(土) 13:30~	DVD上映とディスカッション 「慰安婦問題解決への道は」 北コミュニティセンター 川間九条の会
3月29日(火) 13:00 出発 21:00 帰着予定	野田・九条の会 春のバスツアー 千鳥ヶ淵墓苑 お花見 靖国神社遊就館 国会正門前大集会

そうだ 国会、行こう。

3/29(火)

12:50 文化会館 駐車場集合
13:00 出発 21:00 帰着予定

戦争法施行日の国会前抗議集会に貸し切りバスで行きませんか。別紙チラシの申込用紙に記入して事務局まで。締め切り3月20日。定員25人。お早めにお申し込みください。

バスツアー
戦争法抗議行動
千鳥ヶ淵・お花見

憲法が危ない! 戦争法を廃案に! 全国で200万人の署名でこの悪法をつぶそうと署名が行われています。この九条通信と一緒に配られるはがきに記入して52円の切手を貼り投函してください。すでに署名されている方は、家族や友人、知人に声をかけてみてください。住所は全国どこでもOK。県名から書いてください。

ご協力を!
2000万人署名
戦争法廃止

九条の眼 電波を止める？シツカリしなさい！

高市早苗総務相は先月衆議院予算委員会で、放送事業者へ行政指導しても改善しない場合は何の対応もしないとは約束できない、つまり電波を止めることもあり得ると答弁しました。放送法、電波法に留まらず、憲法 21 条で禁止する検閲になりかねない重大なことを言い放ったのですが、未だ撤回されていません。

放送法第一条は先の戦争で放送が国家権力の宣伝機関となってしまった反省を踏まえ、「不偏不党、真実及び自律を保障」し、憲法の理念である「表現の自由を確保する」としています。つまり電波は国民民主権者のものであって、国が戦前までのように“使わせてやるから許す範囲でやりなさい”と関与

するのはもっての外なのです。時の政権、政党に左右されず自らを律し真実を伝えることで、放送は「民主主義の発達に資する」のです。また放送事業者には自らを律することにより表現の自由を確保するとしているのです。第四条が放送事業者に求めているのは、行政府、与野党に関与をさせることなく事実を伝え、自主組織 BPO（放送倫理・番組向上機構）や放送倫理に従って番組の編集に当たることです。

撤回すべき高市発言は、放送を手中に取めんとする独善と傲慢さで本分を損ねました。事務方ともにシツカリしなさい。

片桐 直勝

民主主義ってなんだ？ シールズ交流会報告

- Q. デモやシールズの活動について。家族や友人の反応は？
- Q. 安保法制が成立してしまった。参議院選挙については？
- Q. 安保法制に反対した理由は？
- Q. ではどうやって国民を守っていくのか？

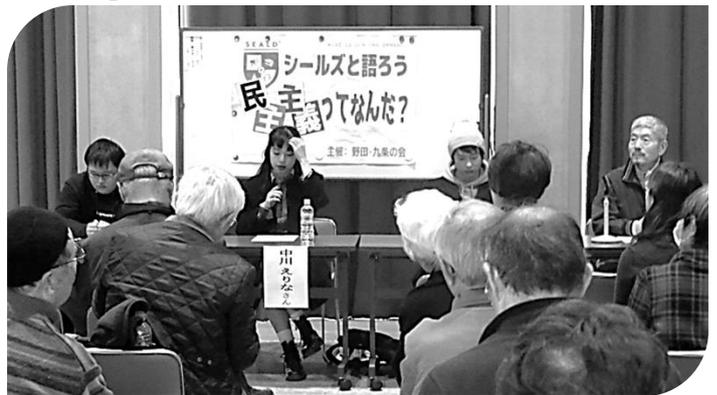
去る 2 月 7 日（土）、南部梅郷公民館において「シールズ SEALD[®]（自由と民主主義のための学生緊急行動）」の若者たちを囲んで交流会が開かれました。

◆ 村上さん(大学 1 年)

家族は、勉強をやっている方がいいという感じ。平日は仕事や学校等日常を守り、その延長線で夕方や土日に国会前で抗議している。日常から外れると他の人への見せ方、可視化の点で効果が薄れてしまうから。デモなどは続けていくことが大切で、もし駄目だったときでも落ち込まないように 10% は冷めている部分を残しながら行動している。夏の参議院選の千葉選挙区では野党共闘が必要だが、鈍い。市民が野党の尻を叩くつもりで。安全保障では、報道を鵜呑みにして特定の国だけを否定するのは危険だ。戦争法反対と言いながら、ヘイトから戦争へと流れていくこともありうる。

◆ 本間さん(大学 3 年)

TV に映ると「すごいな」と言われ、TV の影響力を感じた。安保法制は憲法違反だし法律としてもレベルが低く、通ってしまったが終わりではない。安保法制だけではなく他の政策でも、話し合いのルールが蔑ろにされている。法に則って政治をやりたいと言いたい。日本の安全保障にとって大事なことは武力による威嚇ではなく、戦争になるような事態を避けるために北東アジアの平和を話し合う 6 国協議のような枠組みを作ることだ。そのためには外交を機能させて平和国家としてリーダーシップをとっていくことが必要。参議院選挙で勝つためには政党間の候補者調整だけでは不十分。市民運動が無党派を含め統一候補を支援することが必要だ。その際、公開討論会などを通し皆が納得できる形にすることがすごく大事。それができるかどうか、次の参議院選では問われている。



◆ 中川さん(大学 1 年)

母が日系ペルー人で、デモが弾圧されている国柄のため当初は心配していたが、いい風に報道されて安心したようだ。シールズは希望だと言われるが、高い内閣支持率を見ても今までのやり方ではまだまだ不十分だ。世代を超えてもっとたくさんの人を巻き込むにはどうすればいいか考えなければいけない。安保法問題を通じ、政治的発言がタブー視される日本社会の不健全さが明らかになったと思う。自分の危機感から発言し抗議することは、たとえそれが政治的な事柄であるとしても、ごく普通のことであるはずだ。主権者として大事なものは、自分の国の社会や政治、国際社会に対して応答すること、つまり考えるだけでなく、話し行動し社会に対して自分の姿を現すことだ。

老いも若きも平和や民主主義について考えることは大事な時期だ。親の顔が見てみたいとは、あきれた子どもの行動に対して使う言葉だが、逆にこのようなお子さんを育てた親御さんに会ってみたいと思ったのは私だけでしょうか？

小室 美枝子